

子ろばだより 北総教会 J C通信

2011.8.27

第 25 号

発行責任者 印西市草深天王脇 1139-7

日本基督教団千葉北総教会 牧師 大串眞



でんわ 0476(37)8732 牧師携帯 08031596561

私を支えた聖書のことば

「主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない・・・死の影の谷を行くときも、わたしは災いを恐れない・・・命のある限り、恵みと慈しみはいつもわたしを追う」
(詩篇 23)

これは、私が 8 年前の手術を控えていた夏、夫の母から教えて貰った聖句です。母も、その 10 年ほど前、倉敷教会の方に教えて貰い、胃の手術のときに本当に慰められ、励まされたというみ言葉です。あの夏は、私の母を在宅（倉敷）で看取った後の疲れがまだ残っていた時期で、手術に対する不安がチラつくところへ、さらに、信仰へ導いてくれた元ホストマザーの急逝の知らせ。なぜ？どうして？と、落ち込むわた

しを、支えてくれたのがこのみ言葉です。
(家族や教会の友人たちの祈りも、もちろん大きな支えでした)

その後もいつも読み返していたのですが、あるとき、大串先生の聖句入り絵手紙で、ハッと新しい発見を与えられました。後半の「恵みと慈しみはいつもわたしを追う」は、「わたし」が追うのではなく、「恵みと慈しみ」が「わたし」を追うのですね。「追う」の主語はわたしではなく、神様なのだ、改めて気づかされ、うれしい驚きに満たされました！（神様、鈍くてごめんなさい）このみ言葉通り、今月、末娘もアリ・レジャイアン牧師から洗礼を受けました。信仰面で、すぐにフラフラと糸の切れた風状態になるわたしを、主はしっかりとつかまえて、どんなときもその手を離されない。そして、いつものみ言葉が新しい光を放つとき、常に新しくされる恵みを味わうとき、「想定外」という出来事にも向き合う勇気が与えられるように思います。感謝して。



“Surely goodness and mercy shall follow me all the days of my life”

A・A

今月のいちおし

私が最近ハマっている歌手は、アヴリル・ラヴィーンです。カナダ人で、とてもカワイくてカッコイイです☆
きっと誰でも気に入る曲だと思います。ぜひぜひ聞いてみてください！

T・N

11月3日は千葉北総教会のバザーです。今から楽しみにしてください。

11月13日は礼拝の中で祝福式をいたします。教会の七五三です。出産後のお祝いや、毎年こどもたちのために祝福を祈るときとして親御さんも一緒にぜひご参加ください。

